設備管理を制する者はモノづくりを制す！

第61回 設備管理・技術カンファレンス

設備管理全国大会

本大会は、設備管理における本格的な技術発表会として、今年の開催で61回目を迎える歴史ある大会です。
保全・工務・設計・生産技術・製造等の管理者・スタッフ・経営幹部の方々の設備管理に関する意識向上、進化に寄与すべくプログラムの構成をおこなっています。
設備管理に関わる方々の地位向上、設備管理の課題解決の一助となる大会を目指し、「設備管理全国大会」を開催しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

大会テーマ

- ▶ DX時代の設備管理への「挑戦」
- ▶ カーボンニュートラル × 設備管理の考え方
- ▶ 考動できる人財の育成

日程／場所

日程　2023年3月9日（木）▶10日（金）

会場　ベルサール八重洲（東京駅・日本橋駅）

※　新型コロナウイルスの感染状況により、来場での参加を見合わせ、ならびにライブ視聴に切り替える可能性がございます

◆◆◆ 大会開催の詳細は、専用サイトにて順次公開します ◆◆◆

<https://info-jipm.jp/f/es-forms/>

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

第61回設備管理全国大会開催に向けて

設備管理全国大会 企画委員会では、第60回（昨年度）の大会テーマを踏襲しつつ、第61回では、より具体的に設備管理の「在り方」を訴求するため、近年、産業界全体で注目されている「DX（デジタルトランスフォーメーション）」、「カーボンニュートラル」を掛け合わせた「設備管理のあるべき姿」に向けて「挑戦」することにしました。

一方で、これまでの設備管理を評価し、それを支え続けた人の想い、技術を含めた人財に、デジタル技術や環境課題に適用させながら、目指すべき人財の姿を「考動できる人財」と位置づけ、今後の人財の育成にも着目しました。

この新しいテーマと、設備管理の原点というべき人財育成のテーマをコネクトすることにより、次世代の「設備管理のあるべき姿」に向けて、発信したいと考えております。

設備管理のあるべき姿

挑戦

- DX（デジタルトランスフォーメンション）
- カーボンニュートラル
- 考動できる人財の育成

第61回　設備管理全国大会の発表応募 募集中!!

▶ 応募期間　：　2022年9月9日(金)　▶▶▶　2020年11月11日(金)

▶ 募集方法　：　WEBサイト<https://info-jipm.jp/f/es-forms/>

※ 詳細は、上記サイト内の発表応募のご案内をご確認ください

＜第60回(昨年度)開催の発表タイトルのご紹介＞

- 10 年後の設備管理に向けて
- 未来も支える「保全人財育成」の考え方
- 「人材育成と次世代への技能伝承」
  ―ICT を活用した生産性向上と技能伝承について―
- Creating the Path to Sustainability with TPM: NS-SUS Experiences
  ～ 2020 年度TPM ワールドクラス賞 活動紹介～
- IoT 利用によるリアルタイムな現場ロスの顕在化
  ～現場目線の IoT 生産革新研究会 活動より～
- 故障/ 良品解析による高信頼性設備づくり
- 先進技術を活用した次世代工場構築
- 保全改革におけるDX推進の取組み～ 設備管理における業務改革 ～
- オントロジー技術による知識の体系化と設備管理における活用
- 次世代TPM® “100％良品”をつくり続ける設備を実現するための仕組みづくり提案
- 今だから伝えたい「保全の心得」

大会企画委員

委員長：二階堂 英幸（JFE スチール株式会社）
委員：澤江 孝浩（出光興産株式会社）
委員：伊藤 透（株式会社デンソー）
委員：加藤 浩史（日産自動車株式会社）
委員：吉田 信行（富士フイルムエンジニアリング株式会社）
委員：重藤 祐二（ボッシュ株式会社）
委員：鈴置 智（日本プラントメンテナンス協会）
委員：松田 善介（日本プラントメンテナンス協会）